

科目名	公衆衛生看護学特論 Theories of Public Health Nursing		担当教員 (研究室番号)	清水 真由美 (408) 大越 扶貴 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)	mayumi.shimizu@mcn.ac.jp					
履修年次	1年次前期	科目区分	共通科目Ⅱ		選択区分	領域必修	単位数(時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	否
											遠隔授業	否
科目目的	国内外の地域保健活動に関わる概念・理論を理解し、効果的な支援方法を探求する。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。										
	関連するDP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していける研究能力を身につけている。										
到達目標	1) 国内外の公衆衛生・地域保健活動に関わる概念・理論を理解し、支援方法が検討できる。 2) 国内外の公衆衛生・地域保健活動に関する概念・理論・支援方法について、実践への適用が検討できる。											
成績評価方法(基準)	レポート(60%)、出席状況・プレゼンテーション評価(40%)により総合的に評価する。											
教科書	特に指定しない。											
参考書等	菊池武雄著 自分たちで命を守った村(岩波新書)1968 太田祖電、増田進、田中トシ、上坪陽、田辺順一著 沢内村奮戦記—住民の生命を守る村 (あけび書房) 1983 金川克子編著 「地域看護診断」第2版(東京大学出版会) 2011 金川克子、早川和生監訳 「コミュニティ・アズ・パートナー」第2版(医学書院) 2006 一般社団法人日本健康教育学会編集 「健康行動理論による研究と実践」(医学書院) 2019 中田豊一著 「対話型ファシリテーションの手ほどき」(ムラのミライ) 2016											
受講者へのメッセージ	公衆衛生看護実践のあり方について、様々な角度から探究していきます。問題意識をもって臨んで下さい。											
備考												
回	学習項目				学習内容				主担当教員	授業方法		
1回	オリエンテーション 公衆衛生・国際保健の基盤となる概念				特論の位置づけと学習概要 先行研究や自身の経験を踏まえながら、公衆衛生・国際保健の基盤となる概念について検討・考察する。				清水	講義		
2回	世界的な健康課題と健康格差の現状				世界的な健康課題と健康格差の現状を理解し、日本の健康課題や健康格差について検討する。				清水	講義/ 演習		
3回	世界的な健康課題・格差に対する取り組み 1				事例検討を通して、開発途上国の健康課題・格差を学ぶ。プライマリーヘルスケア(PhC)、持続可能な開発目標など世界的な健康課題に対する取り組みを理解する。				清水	講義/ 演習		
4回	プライマリーヘルスケア(PhC) 1				事例を通して、日本のPhCを学ぶ。沢内村の保健医療活動の事例を分析する。				清水	演習		
5回	プライマリーヘルスケア(PhC) 2				事例分析の報告				清水	演習		
6回	世界的な健康課題・格差に対する取り組み 2				国内外の健康課題や健康格差への対策を1つ選び、まとめて発表する。				清水	演習		
7回	地域開発で用いられる主な手法				ポジティブ・デヴィエンス、参加型行動学習法などの手法を理解する。				清水	講義/ 演習		
8回	健康行動と健康教育 1				健康教育の定義、目的、発展過程、関連する理論・モデルを学ぶ。場面や対象に応じた教育技術・媒体の選択・活用方法および健康教育の計画・実施方法について学ぶ。				清水	講義/ 演習		
9回	健康行動と健康教育 2				事例に即した健康教育計画書の一部を作成し、発表する。				清水	演習		
10回	ヘルスプロモーション				ヘルスプロモーションに係る計画作成、実施、評価のためのモデルとしてのプリシード-プロシードモデルについて概説する。				大越	講義/ 演習		
11回	地域診断 1-理論と概念				事前課題(2次データによる地域診断)の発表				大越	講義/ 演習		
12回	地域診断 2-理論と概念				コミュニティ・アズ・パートナーモデルについて、事例を通して学ぶ。				大越	講義/ 演習		
13回	地域診断 3-方法論				地域における質的情報収集法の実際を学ぶ。				学外協力者	講義/ 演習		
14回	地域診断 4-方法論				地域における質的情報収集法の実際を学ぶ。				学外協力者	講義/ 演習		
15回	地域診断 5-課題発表				自己の研究テーマに関連する特定集団を選定し、地区視診した結果を発表する。				清水	演習		